

## 目標値の達成状況に対する評価の考え方

### ○ 3つの側面から評価します

1. アクションプラン（32項目）ごとに、最終年度である2023年度の実績の目標値に対する達成状況を「◎・○・△」の3段階で評価します。
2. 基本施策（10項目）ごとに、属するアクションプランの取組の達成状況を踏まえ、達成状況を「◎・○・△」の3段階で評価します。
3. 基本施策（10項目）ごとに、市民意識調査アンケート等の成果目標の達成状況を「◎・○・△」の3段階で評価します。

### ○ 3段階で評価する際の達成率の考え方

◎	目標値を上回った場合 (目標値に対して110%以上の実績値を達成した場合)
○	おおむね目標値どおりの場合 (目標値に対して110%未満、90%以上の実績値を達成した場合)
△	目標値を下回った場合 (目標値の90%未満の実績値の場合)

## ○目標値が数値で設定されていない場合の 3 段階評価の考え方

◎	目標値を上回った場合	(例) 目標値が「計画策定」の場合 ・2019 年度から 2023 年度までの 5 カ年の間に計画を策定している場合⇒「○」 ・計画を策定できていない場合⇒「△」 ※「計画策定」において、特に加筆すべき実績を達成している場合に「◎」とする。
○	おおむね目標値どおりの場合	
△	目標値を下回った場合	

## ○3 段階評価の個数等から、さらに全体的に 3 段階評価をする際の考え方

評価のもととなる複数の 3 段階評価で、「◎には 3 点」、「○には 2 点」、「△には 1 点」と点数をつけ、それらの平均値から次のように評価します。※

◎	2.0 点以上
○	1.6 点以上
△	1.6 点未満

※各アクションプラン等には、取組内容の性質等から目標値が数値で設定されていない場合があります。達成状況を○%という形で評価できない項目があります。

そのような項目も含め、全体的な評価を出すために、このような間接的な方式で計算し、評価することとしています。